

市民への市長メッセージ

(令和7年大船渡市大規模林野火災発災から1年を迎えて)

「令和7年大船渡市大規模林野火災」の発災から1年を迎えました。

昨年2月26日に発生した大規模林野火災により、亡くなられた方の御冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、御遺族及び被災された全ての皆様に、深くお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、火災発生直後から、懸命に消火活動に当たっていただいた関係機関の皆様、さらに、今もなお、多くの御寄附や温かい励ましをお寄せいただいております全国各地の企業・団体・個人の皆様に対し、市民を代表して、心から感謝申し上げます。

さて、この火災の延焼範囲は、市の面積の約1割、3,370ヘクタールに及び、昭和39年以降で国内最大となりました。226棟の家屋等が被害を受けたほか、森林被害を始め、農林水産業、商工観光業などの被害総額は102億円を超え、あらゆる分野の産業に甚大な影響が及びました。

このような中、この1年は、被災した市民や事業者が一刻も早く日常を取り戻し、生活・活動ができるよう、市では「暮らしの再建・なりわいの再生」を最優先とし、被災者支援や事業活動の再開に向けた取組を進めてまいりました。

暮らしの再建では、昨年5月に県により建設型応急仮設住宅が整備され、12月末には被災した家屋等の災害廃棄物処理が完了しました。あわせて、住宅再建支援個別相談会の実施や各種支援制度の周知など、被災された方々が、それぞれの状況に応じて次の生活再建への一歩を踏み出せるよう、きめ細やかな支援に取り組んでまいりました。

なりわいの再生では、農業・水産業における年間の生産サイクルに遅れを生じさせないことを強く意識した復旧支援を展開するなど、一つ一つ着実に歩みを進めてまいりました。

これからは、住まいの本格再建に向けた動きが活発化します。市では、住宅再建に対する支援はもとより、心のケアなど被災者に寄り添った丁寧な支援を継続してまいります。

約60億円にも及ぶ被害を受けた森林の復旧につきましては、これから、その動きを加速させます。単なる原状回復にとどまらず、多様な樹種による植林、脱炭素との連動や被害木の有効活用など、市民や民間事業者を始め、多くの皆様と力を合わせながら将来を見据えた森林づくりを目指します。

災害予防の強化につきましては、今般の火災における経験と教訓を踏まえ、消防水利を始めとするハード整備のほか、関係機関・団体と一層連携・協働しながら、意識啓発を目的とした取組を推進してまいります。

市民の皆様の暮らしを守り、緑豊かな故郷を次代に引き継ぐため、今後も全力を尽くします。安全で活力のある大船渡の再生に向け、一步ずつ着実に、共に歩みを進めてまいりましょう。

大船渡市長

沢上 清